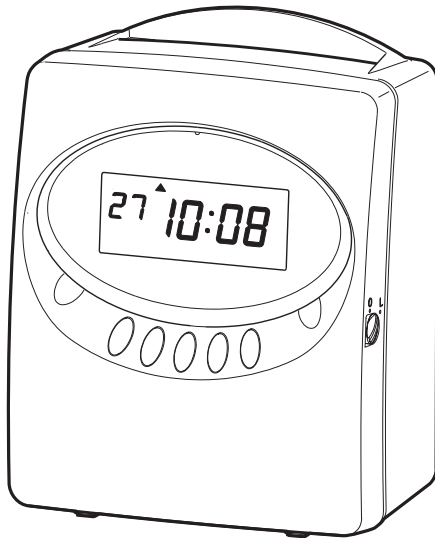


クォーツ・タイムレコーダー

QR-4550

取扱説明書



SEIKO

はじめに

このたびは、弊社タイムレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。タイムレコーダーを安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を、必ずお読みください。またお読みになった後は、いつでもお使いいただけるように大切に保管してください。

1. 本書の内容につきましては、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
2. 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、万一お気づきの点、ご不明の点などがありましたら、ご購入の販売店までお問い合わせください。
3. 運用に際しましては、本書の内容を十分に理解いただいた上でご活用ください。
4. お客様が本機を運用された結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本書の内容の一部あるいは全部を、無断で複製することは禁止されております。

目次

1. 安全に正しくお使いいただくために	1
2. 特長	3
3. ご使用になる前に	5
(1) 付属品をお確かめください	5
(2) 各部の名称とはたらき	5
(3) タイムレコーダー内部のパッドを外してください	7
(4) 壁掛けの方法	8
4. 日常の操作	9
5. 設定のしかた	13
設定の準備	13
設定の手順	14
日時設定モード	15
時刻の設定	15
日付の設定	16
機能設定モード	17
締日の設定	17
印字段切換時刻の設定	18
印字パターンの設定	19
サマータイムの設定	20
プログラムの設定	24
パスワードの設定／解除	30
オールクリア	33
6. リボンの交換	34
7. Q & A	36
8. こんなときには	38
エラー番号が表示されたら	38
9. 仕様一覧	39
10. 別売付属品および消耗品	39

本書で使用している記号と意味（“警告”と“注意”の絵文字以外のマークです。）

重要! 設定をするうえで大切なことがらや、ポイントとなることを示します。

※ 補足説明のマークです。





関連事項が記載されているページを示します。






1.安全に正しくお使いいただくために







本書は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、守っていただきたい事項を示しています。

絵表示について

本製品の取扱説明書及び製品への表示では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電する「危険」があることを示します。		この表示は、必ず実行していただきたい内容を示しています。
	この表示は、分解してはいけないという、「禁止」を示しています。		この表示は、必ず電源プラグをコンセントから抜いていただきたいことを示しています。
	この表示は、してはいけない、「禁止」行為であることを示します。		

 警告	
	この機器を分解しないでください。 内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
	この機器を改造しないでください。 火災、感電のおそれがあります。
	万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。
	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。



万一、異物（金属片、水、液体など）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

注意



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



この機器の上に水などの入った容器または金属物をおかないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。
(必ずプラグを持って抜いてください。)
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



印字ヘッド部分には、触れないよう、ご注意ください。
けが、火傷の原因となることがあります。



電源プラグは奥まで確実に挿入してください。
火災、感電の原因となることがあります



タイムカードの挿入口には指定のタイムカード以外は差し込んだり、落としたりしないでください。
火災、感電の原因となることがあります。



万一、この機器を落としたり、ケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

日頃のお手入れについて

ケースが汚れたときは電源プラグをコンセントから抜き、ほこりや汚れを乾いた布などで掃除してください。

2. 特長

★電源ONですぐに使える！

年月日・曜日・時刻はセット済みです。締日や印字段切換時刻などの設定も簡単で、すぐにお使いになれます。

★コンパクトなボディに大型デジタル時計表示！

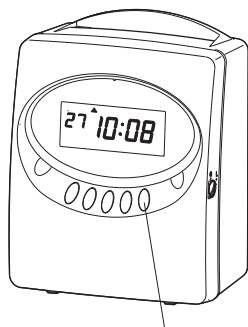
コンパクトサイズなので置き場所を選びません。しかも大型バックライト付きデジタル表示を装備。時刻はもちろん、日付や曜日の見やすさにも配慮したシンプルなデザインです。

★使い方はとってもカンタン！

「出勤」や「退勤」などの該当するボタンを押してタイムカードを入れれば、自動的にカードを引き込んで現在の時刻を印字します。印字後は自動排出されます。

★徹夜勤務に対応！24時間営業にもピッタリ！

徹夜勤務の場合、「徹夜」ボタンを押してタイムカードを入れれば、出勤日と同じ日付の印字段に「テ」の文字をつけて退勤時刻を印字します。



徹夜ボタン

	1 欄	2 欄	3 欄	4 欄	5 欄	6 欄
19日	出 8:25	出 12:30	出 13:02	出 18:05		
20日	出 8:30	出 12:05	出 13:10	出 1:05テ		

日付・時刻に
コメント“テ”が
付きます。

★一日4欄印字！

一日に4回まで印字ができるので、休憩または外出などもシッカリ記録できます。

★印字パターンは4種類から選択！

印字パターンは「1.日付+時刻」、「2.曜日+時刻」、「3.大きな文字の時刻」、「4.AM/PMの時刻」の4種類。週単位で確認したい場合は「2.曜日+時刻」を、時刻をハッキリ確認したい場合は「3.大きな文字の時刻」というように、お客様のご都合に合わせた印字パターンが選択できます。

★ボタンを押さずに自動印字もできる！

「プログラム」の設定をすれば、「出勤」ボタンや「退勤」ボタンを押さなくても、時間帯別に指定した印字欄に時刻を印字することができます。

また、遅刻や早退などがわかるように、イレギュラーマーク (▲) を印字する時間帯を設定することもできます。

1欄	2欄	3欄	4欄	5欄	6欄
8:50			17:36		
9:03▲	13:15	16:52	17:45		

9:00以降の出勤を遅刻とする場合
“▲”マークをつける設定ができます。

★パスワードの設定で改ざん防止！

4ケタのパスワードを設定することで、管理者以外による不正な改ざんを防ぐことができます。

★自動サマータイム機能も搭載！

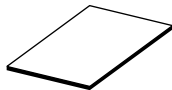
サマータイムが導入されても安心。自動サマータイム機能がしっかり対応します。

3. ご使用になる前に

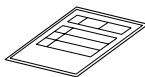
(1) 付属品をお確かめください



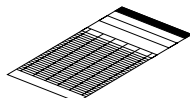
壁掛け取り
付けネジ2本



取扱説明書(本書)



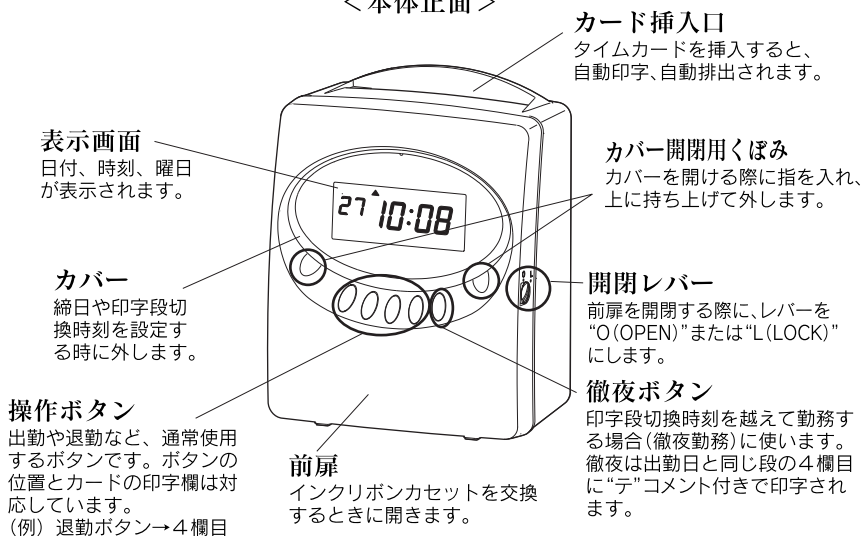
保証書



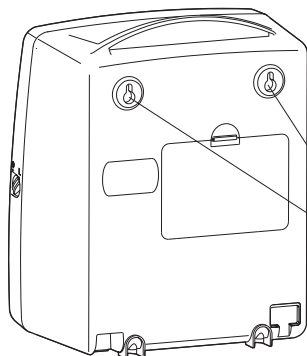
タイムカード (SEIKO Cカード)
1枚

(2) 各部の名称とはたらき

<本体正面>



<本体背面>



壁掛け用の穴
タイムレコーダーを壁に掛けて使う場合に利用します。

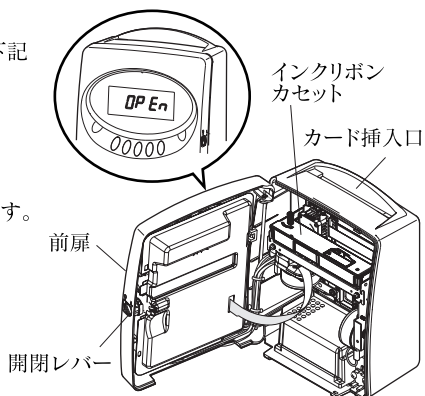
< 前扉を開けた場合 >

●前扉の開け方

インクリボンカセットを交換するときは、下記の手順で前扉を開閉してください。

(操作手順)

- ①開閉レバーを“O (OPEN)”に合わせます。
- ②前扉を開きます。
- ③インクリボンカセットを交換後、前扉を閉じます。
- ④開閉レバーを“L (LOCK)”に合わせます。



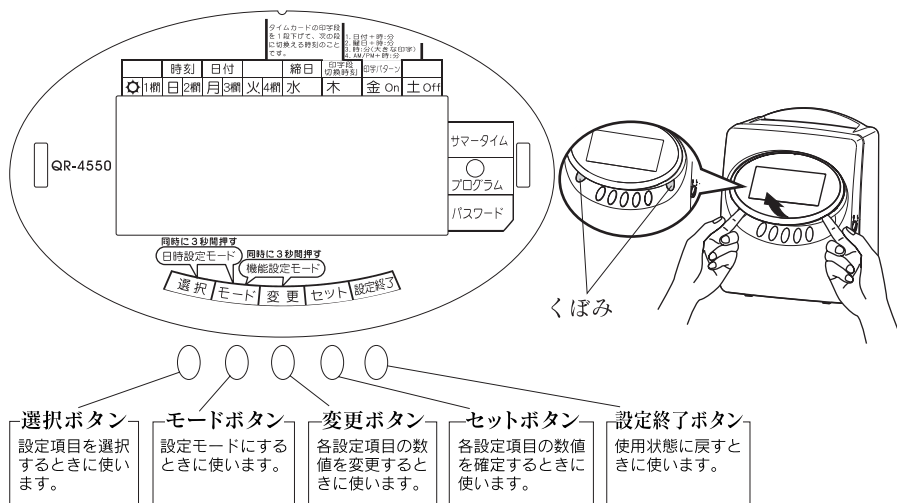
重要!

開閉レバーを“O”に合わせたまましていると、タイムレコーダーが動作しなくなります。前扉を閉めた後は、必ず開閉レバーを“L”に合わせてロックしてください。



設定については「5.設定のしかた」(13ページ)、インクリボンカセットの交換については「6.リボンの交換」(34ページ)をご参照ください。

●締日や印字段切換時刻などを設定する時…カバーを外します。



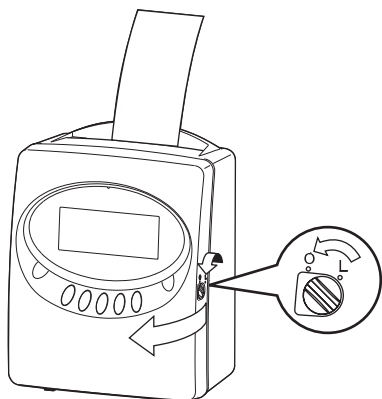
(3) タイムレコーダー内部のパッドを外してください

タイムレコーダー内部には、輸送時の振動などから製品を保護するためのパッドが入っています。

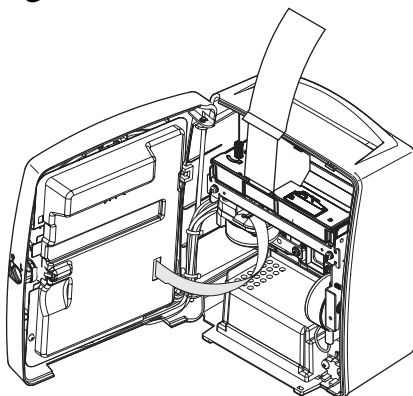
! 電源を入れる前に必ずパッドをタイムレコーダーから抜いてください。

ご使用時、パッドは不要です。

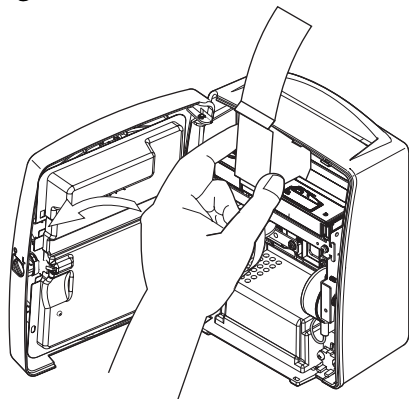
1 タイムレコーダー側面にある開閉レバーを“O (OPEN)”に合わせます。



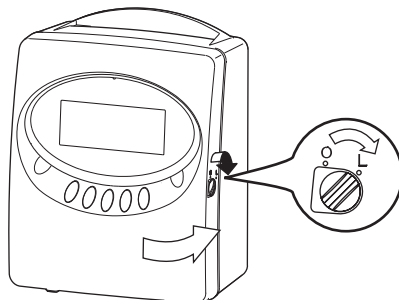
2 前扉を開きます。



3 “パッド”を抜きます。



4 前扉を閉めて、開閉レバーを“L (LOCK)”に合わせます。

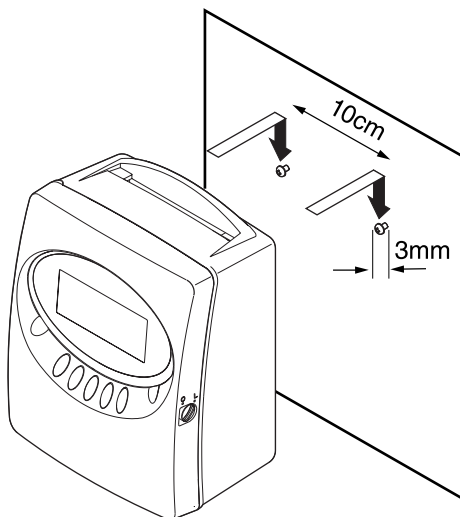


(4) 壁掛けの方法

付属のネジを使って、タイムレコーダーを壁に掛けることができます。壁に掛けて使用する場合には、次のようにしてください。

- 1 付属の壁掛け取り付けネジ2本を、横10cmの間隔で壁に取り付けます。このときネジの頭を3mmほど出して、取り付けてください。
- 2 タイムレコーダー背面の壁掛け用の穴を使って、ネジに引っかけます。

! 同梱されているネジは木造の厚い壁や木の柱でご使用されることを前提としており、それ以外の条件の場所ではご使用にならないようにしてください。タイムレコーダーが落下してお客様がケガをされたり、また本体の故障の原因となるおそれがあります。



設置について

次のような場所でのご使用は避けてください。

- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光のあたる場所
- 振動の激しい場所または常時振動が発生する場所
- 気温が-5℃以下や、45℃以上の場所
- 化学薬品やオゾンなどの影響をうける場所


4. 日常の操作

時刻や日付などタイムレコーダーが動作するために必要な事柄は、あらかじめ設定してありますので、パッドを外した後、**電源を入れてすぐお使いいただけます。**

工場出荷時の設定

- ・ 締日 (初期設定：月末締め)
- ・ 印字段切換時刻 (初期設定：0:00)
- ・ 印字パターン (初期設定：1.日付+時分)

そのままの状態ですぐにお使いいただけますが、締日などが実際にご使用いただく場合と異なるときには、設定を変更してください。

 「5.設定のしかた」(13ページ) をご参照ください。



前述の「3.ご使用になる前に」(5ページ) を必ずお読みください。

タイムレコーダーの使い方はきわめて簡単です。タイムカードを挿入していただきますと、カードは本体に自動引込みされ、印字後排出されます。



カード挿入口にクリップ等の金属は絶対に入れないでください。また、カードを無理に押し込まないでください。故障の原因となる恐れがあります。

●印字欄、印字段(印字行)とは

印字欄とは……

印字欄とはタイムカードの横方向の印字するマス目のことを言います。

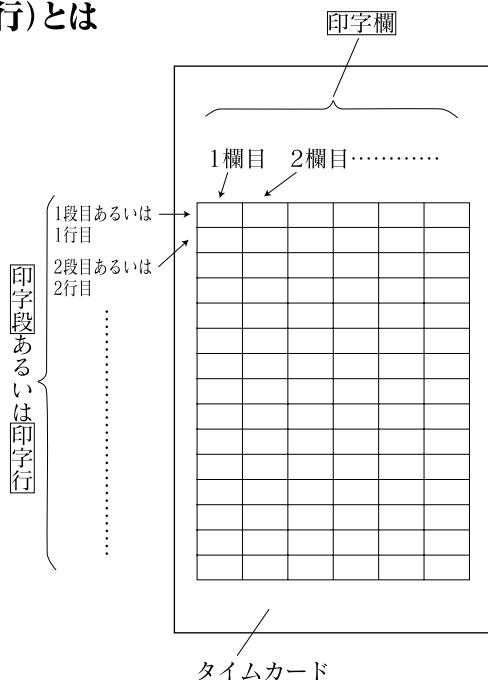
通常、左のマス目より1欄目、2欄目……と呼び、1日の中で、出勤や退勤などの印字する位置を変えたい場合に利用します。

本製品は1～4欄目まで印字することができます。

印字段あるいは印字行とは……

印字段(行)とは、タイムカードの縦方向の印字するマス目のことを言います。

通常、上のマス目より1段目、2段目……あるいは1行目、2行目……と呼び、日が変わると1つ下の段(行)に印字します。



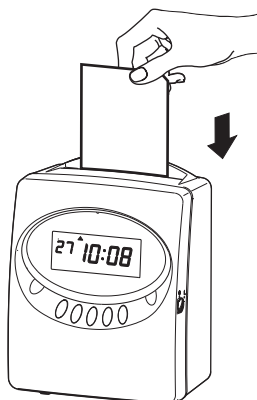
●ランプがついている印字欄に打刻します

タイムレコーダーは各操作ボタンのランプがついている位置(印字欄)に印字します。

例 : 1欄目に印字する場合

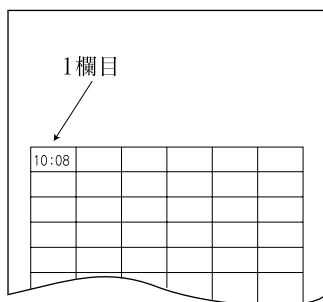


① “出勤”のランプがついていることを確認します。



② タイムカードをタイムレコーダーにかるく入れます。カードは自動的にタイムレコーダーに引き込まれます。

印字後、自動的にカードはタイムレコーダーから上がってきます。



③ 印字は1欄目に打たれます。

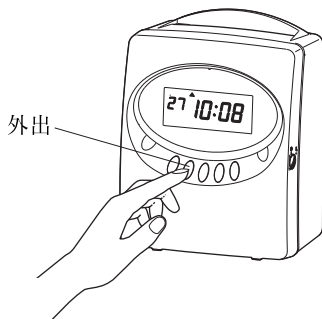
タイムレコーダーは1日に4回(4欄分)印字することができます。

● 打ちたい印字欄を変えるには……

印字欄を変更する場合は、“操作ボタン”を押してからタイムカードを入れます。

例 : 1 欄目から 2 欄目に印字位置を変えて打つ場合

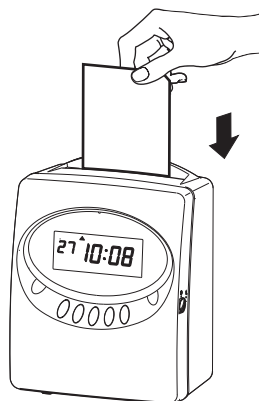
1 外出ボタンを押します。



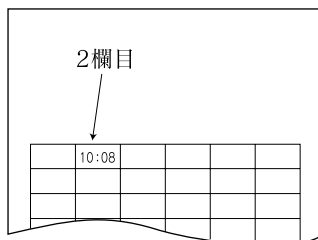
2 “外出”のランプがつかます。



3 タイムカードをタイムレコーダーに入れます。



4 印字は2欄目に打たれます。



重要!

以降、次の印字段切換時刻までは、
違う印字欄の“操作ボタン”を
押さないかぎり 2 欄目に印字し
ます。



「印字段切換時刻の設定」
(18ページ)をご参照くだ
さい。


プログラムを設定すれば、ボタン操作をしなくても、時間によって印字欄
を変えることができます。



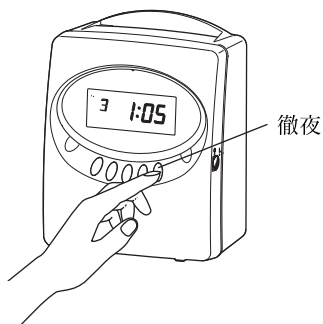
「プログラムの設定」(24ページ)をご参照ください。

●徹夜印字をするには

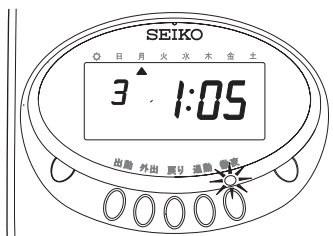
印字段切換時刻を過ぎて退勤する場合は、**徹夜**ボタンを押してからタイムカードをカード挿入口に入れます。そうすることにより、出勤と同じ日付に退勤の時刻を印字することができます。

 「印字段切換時刻の設定」(24ページ)をご参照ください。

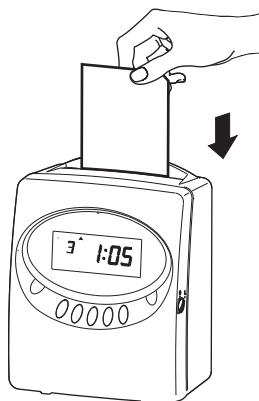
- ① **徹夜**ボタンを押します。



- ② “徹夜”のランプがつきます。



- ③ タイムカードをタイムレコーダーに入れます。



- ④ 印字は出勤日と同じ段の4欄目に“テ”コメント付きで印字されます。

例 印字パターンが「1.日付+時分」の場合

1欄	2欄	3欄	4欄	5欄	6欄
← 10:08	← 18:00				
≈ 8:30	≈ 12:05	≈ 15:10	≈ 1:05テ		

時刻にコメント
“テ”が付きます。

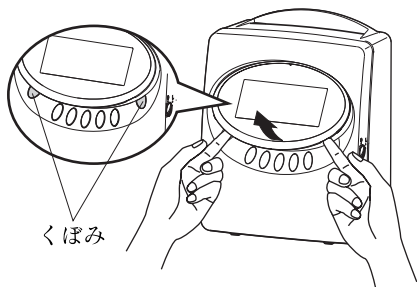
5. 設定のしかた

● 設定の準備

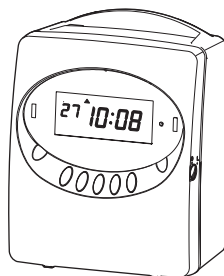
縮日や時刻など設定する前に、“カバー”を外して設定できる状態にします。

! 設定する時は、コンセントに電源プラグをさしこみ通電した状態で行ってください。

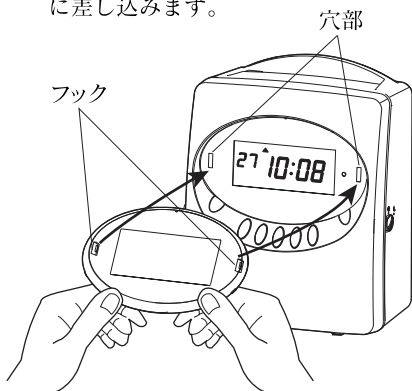
- 1** カバー下部の左右2カ所のくぼみに指を入れ、手前に引くようにしてカバーを外します。



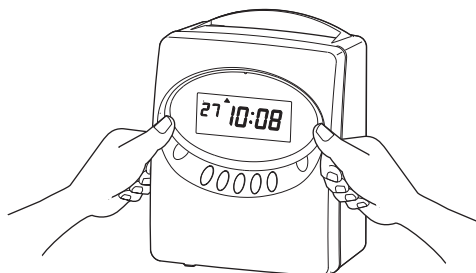
- 2** 表示画面を見ながら、“操作ボタン”を使うことにより設定ができます。



- 3** 設定終了後は、カバー裏面にあるフックをタイムレコーダーの穴部に差し込みます。



- 4** カバー下部の両端を押さえて、“パチン”ととめます。



●設定の手順

各設定の詳細については次ページ以降をご覧ください。

日時設定モード

日頃の時間の修正などに設定します。



選択 ボタンと **モード** ボタンを同時に約3秒間押しして設定モードに入ります。

時刻の設定



あらかじめ現在時刻に設定されていますが、時刻が進んだり、遅れたりした時に操作してください。

日付の設定



あらかじめ年(西暦)、月、日は設定されていますので、あらためて設定する必要はありません。

機能設定モード

縮日や印字段切換時刻などを設定します。



モード ボタンと **変更** ボタンを同時に約3秒間押しして設定モードに入ります。

縮日の設定



工場出荷時の設定は“31(月末縮)”になっています。縮日が月末と15日以外の場合は縮日を変更してください。

印字段切換時刻の設定



タイムカードの印字を1段下げて、次の日の段に切り換える時刻を設定します。

印字パターンの設定



タイムカードに印字するパターンを4種類の中から選択できます。

サマータイムの設定



サマータイムの開始日と終了日が設定できます。

プログラムの設定



時間帯ごとに印字欄を指定して印字するプログラムが設定できます。

パスワードの設定



改ざん目的などの故意の時間修正や設定の変更を防止するために4桁のパスワードを設定できます。

●日時設定モード

時刻の設定

あらかじめ現在時刻に設定されていますが、時刻が進んだり、遅れたりした時は修正してください。時刻表示は24時間制です。

例 10時8分を10時9分に変更する場合



- ① 選択ボタンとモードボタンを同時に約3秒間押します。日時設定モードになります。画面に表示されている“▲”が「時刻」に合い、“時”が点滅します。

点滅しているところが変更できます。



- ② 例では“時”は10時のまま変更しませんので、このままセットボタンを押します。これで10時が設定できました。この時、表示の点滅は“時”から“分”に移ります。また、“秒”は“00”秒になります。




- ③ 時刻の“分”を変更します。変更ボタンを押して、“09”分に合わせ、次にセットボタンを押します。この時、“秒”が進みだします。



- ④ 設定状態からご使用状態に戻すため、設定終了ボタンを押します。これで設定は終了です。表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

日付の設定

あらかじめ年(西暦)、月、日は設定されています。(あらためて設定する必要はありません。) オールクリア操作などで、初期状態に戻した場合は、あらためて設定してください。

 「オールクリア」(33ページ)をご参照ください。

例 2006年10月20日を同年同月21日に変更する場合



1 **選択**ボタンと**モード**ボタンを同時に約3秒間押します。

日時設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「時刻」に合います。**選択**ボタンを押して、“▲”を「日付」に合わせてください。“年”が点滅します。年は西暦下2桁で表示されます。

点滅しているところが変更できます。

2 **例**では、“年”は2006年のまま変更しませんので、このまま**セット**ボタンを押します。これで2006年が設定できました。この時、表示の点滅は“年”から“月”に移ります。

3 **例**では“月”は10月のまま変更しませんので、このまま**セット**ボタンを押します。これで“10”月が設定できました。この時、表示の点滅は“月”から“日”に移ります。

4 “日”を変更します。**変更**ボタンを押して“21”日に合わせ次に**セット**ボタンを押します。これで“21”日が設定できました。

5 設定状態からご使用状態に戻すため、**設定終了**ボタンを押します。これで設定は終了です。表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

●機能設定モード

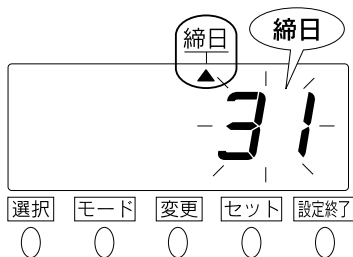
縮日の設定

工場出荷時の設定は“31(月末締め)”になっています。縮日が月末と15日以外の場合は縮日を変更してください。

大の月、小の月によらず、月末締めの場合は縮日“31日”のままでご利用いただけます。15日締めの場合は、縮日を“31”にしてC-31カード、CカードまたはSYカードの赤い面よりご利用ください。

例 月末締め(31日)を20日締めに変更する場合

※月末締めは“31”と設定します。



1 **モード**ボタンと**変更**ボタンを同時に約3秒間押します。
機能設定モードになります。
画面に表示されている“▲”が「縮日」に合います。

2 **変更**ボタンを押して、“20”日に合わせ、次に**セット**ボタンを押します。
これで“20”日が設定できました。

3 設定状態からご使用状態に戻すため、**設定終了**ボタンを押します。
これで設定は終了です。
表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。
カバーをつけてご使用ください。

印字段切換時刻の設定

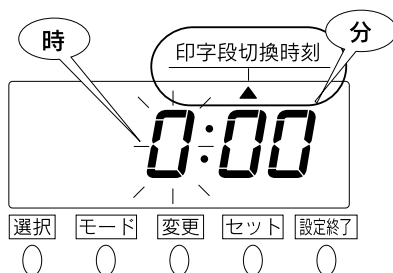
印字段切換時刻とは、タイムカードの印字を1段下げて、次の日の段に切り換える時刻のことです。

あらかじめ午前0:00に設定されていますが、この時間にタイムレコーダーをご利用されない場合は、あらためて設定する必要はありません。

また、印字段切換時刻をまたいで退勤する場合には、徹夜ボタンを押してからタイムカードを入れてください。

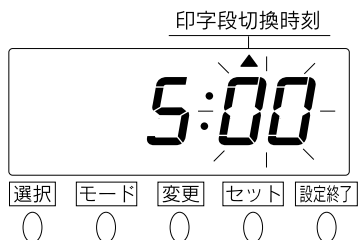
重要!

例 印字段切換時刻を午前0:00から午前5:00に変更する場合

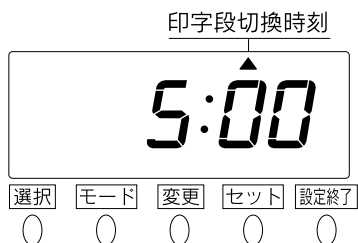


- 1 **モード**ボタンと**変更**ボタンを同時に約3秒間押します。
機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「縮日」に合います。**選択**ボタンを押して“▲”を「印字段切換時刻」に合わせてください。

点滅しているところが変更できます。



- 2 **変更**ボタンを押して“5”時に合わせ、次に**セット**ボタンを押します。これで“時”が設定できました。この時表示の点滅は“時”から“分”に移ります。



- 3 例では“分”は“00”分のまま変更しませんので、このままもう一度**セット**ボタンを押します。これで“00”分が設定できました。



- 4 設定状態からご使用状態に戻すため、**設定終了**ボタンを押します。これで設定は終了です。表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

印字パターンの設定

タイムカードに印字するパターンは次の4種類の中から選択できます。

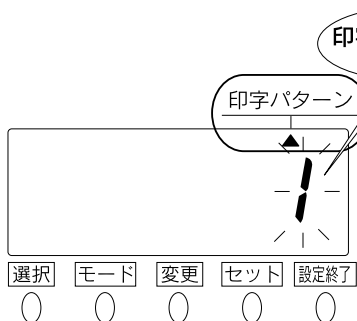
印字パターンの
選択番号

1. 日付+時:分 → ㊿10:08
2. 曜日+時:分 → 月10:08
3. 時:分(大きな印字) → 10:08
4. AM/PM+時:分 → AM10:08

21日(月)10時8分
の印字例

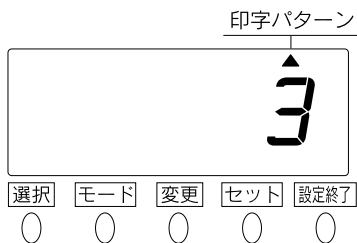
工場出荷時の設定は 1. 日付+時:分 になっています。

例 印字パターン 1. 日付+時:分 を 3. 時:分(大きな印字) に変更する場合



印字パターンの
選択番号

- ① モードボタンと変更ボタンを同時に約3秒間押します。
機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「縮日」に合います。選択ボタンを押して“▲”を「印字パターン」に合わせてください。



- ② 変更ボタンを押して選択番号“3(時:分(大きな印字))”に合わせ、次にセットボタンを押します。これで“3(時:分(大きな印字))”が設定できました。



- ③ 設定状態からご使用状態に戻すため、設定終了ボタンを押します。これで設定は終了です。表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

サマータイムの設定

日本国内でサマータイムが導入されたときに設定してください。

タイムレコーダーのサマータイム機能について

1 サマータイムの実行時間

サマータイム開始日の午前2時になると、自動的に時刻が1時間進んで午前3時となり、サマータイム終了日午前2時になると、自動的に時刻が1時間戻って午前1時となるようになっていきます。

2 サマータイムの実行日

例えば

開始日 2007年4月1日(日曜日)

終了日 2007年10月28日(日曜日)

と設定した場合、タイムレコーダーは開始日を4月の最初の日曜日、終了日を10月の最後の日曜日と記憶します。一度設定していただければ、翌年からのサマータイムの設定はタイムレコーダーが自動的に

開始日 4月の最初の日曜日

終了日 10月の最後の日曜日

と更新しますので、その後の設定は不要です。

工場出荷時は、サマータイム開始日、サマータイム終了日の設定はされていません。

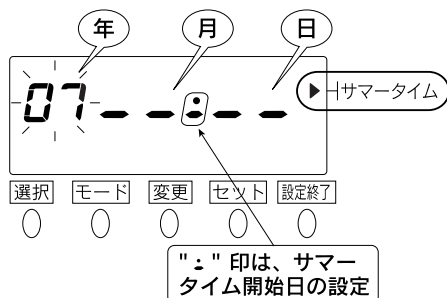
サマータイムの設定は、その年の開始日と終了日の月日を入力することにより行います。

次の例でサマータイムの設定方法を説明します。

例	今日(現在日)	2007年1月31日(水)
	サマータイム開始日	2007年4月1日(日) < 4月最初の日曜日 >
	サマータイム終了日	2007年10月28日(日) < 10月最後の日曜日 >

●サマータイム開始日の設定

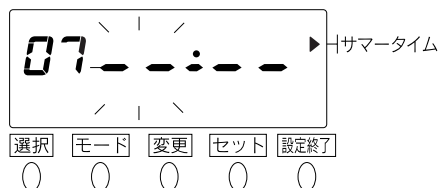
例 開始日：4月の最初の日曜日の場合（2007年4月1日の場合）



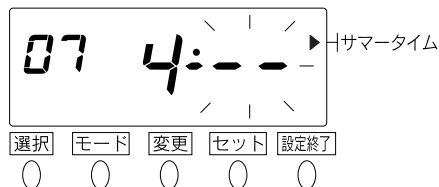
- 1** **モード**ボタンと**変更**ボタンを同時に約3秒間押します。

機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「締日」に合います。**選択**ボタンを押して“▲”を「サマータイム」に合わせてください。

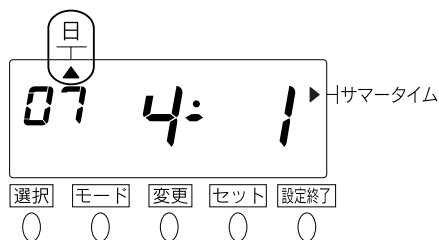
点滅しているところが変更できます。



- 2** 例では、“年”は2007年のまま変更しませんので、このまま**セット**ボタンを押します。
このとき表示の点滅は、“年”から“月”に移ります。



- 3** サマータイム開始の“月”を設定します。
変更ボタンを押して、“4”月に合わせ、次に**セット**ボタンを押します。
これで4月が設定できました。
このとき表示の点滅は、“月”から“日”に移ります。



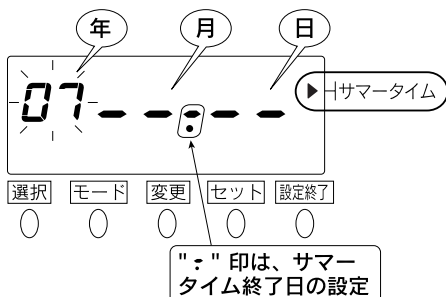
- 4** サマータイム開始日の“日”を設定します。
変更ボタンを押して“1”日に合わせ、次に**セット**ボタンを押します。
これで“1”日が設定でき、サマータイム開始日の設定が終了しました。



- 5** この設定の終了後、数秒すると、サマータイム終了日の設定に移ります。
サマータイム終了日の設定方法は次ページをご参照ください。

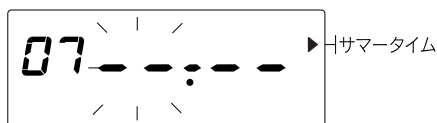
●サマータイム終了日の設定

例 終了日：10月の最後の日曜日の場合（2007年10月28日の場合）

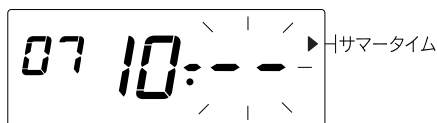


- 1** サマータイムの開始日を設定後、数秒すると、サマータイム終了日の設定に移ります。

点滅しているところが変更できます。



- 2** 例では、“年”は2007年のまま変更しませんので、このまま**セット**ボタンを押します。このとき表示の点滅は、“年”から“月”に移ります。



- 3** サマータイム終了の“月”を設定します。**変更**ボタンを押して、“10”月に合わせ、次に**セット**ボタンを押します。これで10月が設定できました。このとき表示の点滅は、“月”から“日”に移ります。



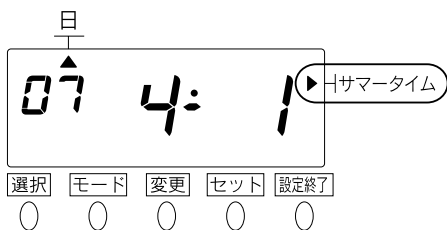
- 4** サマータイム終了日の“日”を設定します。**変更**ボタンを押して、“28”日に合わせ、次に**セット**ボタンを押します。これで28日が設定できました。このとき表示の“日”の点滅が点灯に変わり、日曜日の下に“▲”印が点灯します。これでサマータイム終了日の設定が終了しました。



- 5** 設定状態からご使用状態に戻すため、**設定終了**ボタンを押します。これで設定は終了です。表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

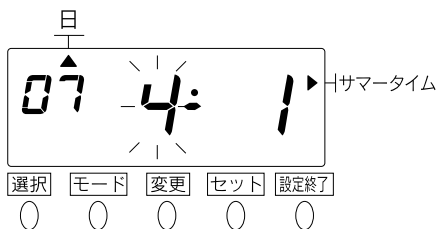
●サマータイム設定を取り消す場合

一度設定されたサマータイム設定を取り消す場合、“サマータイムの開始日”の“月”の表示を“--”とすることによりサマータイムは無効になります。

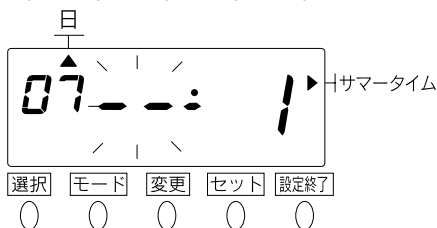


- 1 **モード**ボタンと**変更**ボタンを同時に約3秒間押します。
機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「締日」に合います。**選択**ボタンを押して“▲”を「サマータイム」に合わせてください。

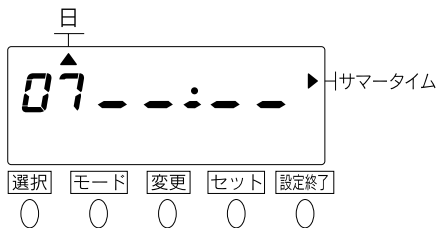
点滅しているところが変更できます。



- 2 “年”は変更しませんので、このまま**セット**ボタンを押します。このとき表示の点滅は、“年”から“月”に移ります。



- 3 サマータイム開始の“月”を**変更**ボタンを押して、“--”に合わせ、次に**セット**ボタンを押します。このとき表示の点滅は、“---:--”になります。これでサマータイムの設定を取り消すことができました。



- 4 設定状態からご使用状態に戻すため、**設定終了**ボタンを押します。これで設定は終了です。表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

●プログラムの設定

プログラムとは、出勤時や退勤時に操作ボタンを押さなくても、時間帯に応じてタイムカードの指定の欄(横方向の印字するマス目)に印字させる設定プログラムのことをいいます。プログラムを設定することにより、印字欄を時間帯ごとに自動切替することができます。また、「遅刻」や「早退」などがわかるように、イレギュラーマーク(▲)を印字する時間帯を設定することもできます。

タイムレコーダーは一日に4欄まで印字することができます。

工場出荷時にはプログラムは設定されていません。

重要!

プログラムは9個(P1～P9)まで設定できます。プログラムを設定しない時間帯は、1欄目に印字します。

重要!

ひとつのプログラムNo.に印字欄(1～4欄)とイレギュラーマーク(“▲”の印字「On」または「Off」)を同時に設定することはできません。

次の例でプログラムについて説明します。

●ある会社の就業時間

09:00 始業(9:00以降の出勤は遅刻)

17:00 終業(17:00以前の退社は早退)

上記の例をもとに、プログラムのタイムテーブルを作ってみます。

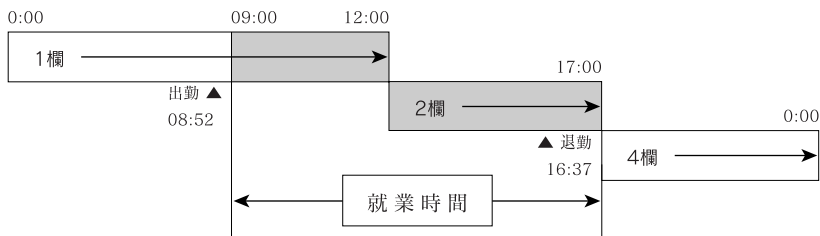
タイムレコーダーでの一日は、タイムカードの印字する行(印字段)が切り換わる「印字段切替時刻」から始まります。



「印字段切替時刻の設定」(18ページ)をご参照ください。

●プログラムのタイムテーブル

(例) 印字段切替時刻が「0:00」の場合



イレギュラーマーク(▲)を印字。

次に、この例のプログラム表を作成してみます。

●プログラム表

プログラムを設定しない時間帯は、1欄目に印字します。

	プログラムNo.	時刻	印字欄	イレギュラーマーク
①	P 1	09:00～		On
②	P 2	12:00～	2欄	
③	P 3	17:00～		Off
④	P 4	17:00～	4欄	

※イレギュラーマークを「On」にすると、時刻の後ろに“▲”が印字されます。

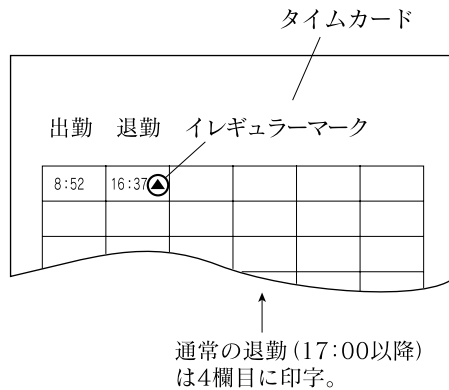
ある人の一日のスケジュールをもとに、上記のプログラムが適用された場合のタイムカードの印字例を示します。

●ある人のスケジュール

08:52 出勤

16:37 退勤(早退)

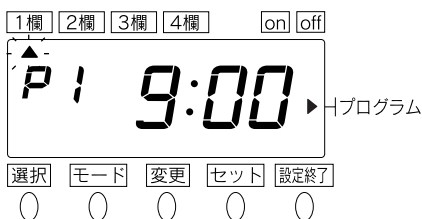
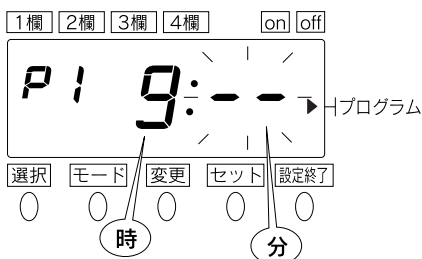
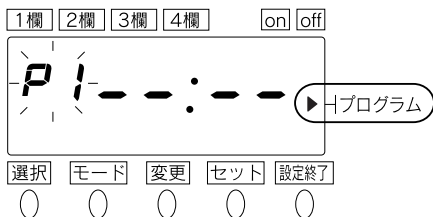
●タイムカードの印字例



●プログラムを設定するには

●ページのプログラム表にしたがって、設定の手順を説明します。

設定する



1 モードボタンと変更ボタンを同時に約3秒間押します。

機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「締日」に合います。選択ボタンを押して、“▲”を「プログラム」に合わせてください。

点滅しているところが変更できます。

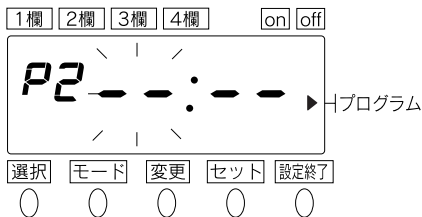
2 プログラム表①「P1」の内容を設定します。

(1) ここでは「P1」が選択されているので、そのままセットボタンを押します。これで「P1」の開始時刻が設定できるようになります。

(2) 変更ボタンを押して“9”時に合わせ、次にセットボタンを押します。これで“9”時が設定できました。この時、表示の点滅は“時”から“分”に移ります。

(3) 変更ボタンを押して“00”分に合わせ、次にセットボタンを押します。これで“00”分が設定できました。この時、表示の点滅は左上の1欄の“▲”に移ります。

(4) 変更ボタンを押して、画面上部に表示されている「On」に“▲”を合わせ、セットボタンを押します。これで「P1」が設定できました。

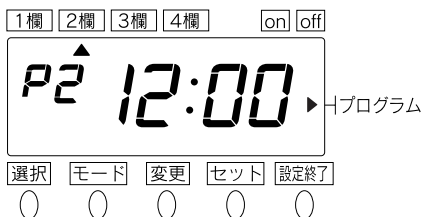


3 プログラム表②「P2」の内容を設定します。

(1) **セット** ボタンを1回押して、上記で設定した「P1」を点滅させます。次に**変更** ボタンを押して「P2」に合わせ、**セット** ボタンを押します。



(2) 「P1」のときと同様の操作 (前ページの②-(2)~(3)) で、左図の時刻に合わせます。



(3) **変更** ボタンで画面上部の印字欄「2欄」に“▲”を合わせ、**セット** ボタンを押します。これで「P2」が設定できました。



4 プログラム表③「P3」の内容を設定します。

(1) 「P2」のときと同様の操作で、「P3」に合わせてセットし、左図の時刻に合わせます。



(2) 画面上部の「Off」に“▲”を合わせ、**セット** ボタンを押します。これで「P3」が設定できました。



5 プログラム表④「P4」の内容を設定します。

(1)「P2」のときと同様の操作で、「P4」に合わせてセットし、左図の時刻に合わせてセットします。

(2)画面上部の「4欄」に“▲”を合わせ、「セット」ボタンを押します。これで「P4」が設定できました。

6 設定状態からご使用状態に戻すため、「設定終了」ボタンを押します。

これで設定は終了です。

表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。

カバーをつけてご使用ください。

●プログラムの内容を確認するには

モードボタンと**変更**ボタンを同時に約3秒間押します。

機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「締日」に合います。

選択ボタンを押して、表示の“▲”を「プログラム」に合わせます。**変更**ボタンを押すごとに、“P1”→“P2”→“P3”……順番で、プログラムの内容を確認できます。

●プログラムの内容を変更するには

モードボタンと**変更**ボタンを同時に約3秒間押します。

機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「締日」に合います。

選択ボタンを押して表示の“▲”を「プログラム」に合わせます。**変更**ボタンを押して変更したいプログラムNo.を点滅させます。設定したときと同じように**変更**ボタン、**セット**ボタンを押して、そのプログラムを設定しなおしてください。

●プログラムを消すには

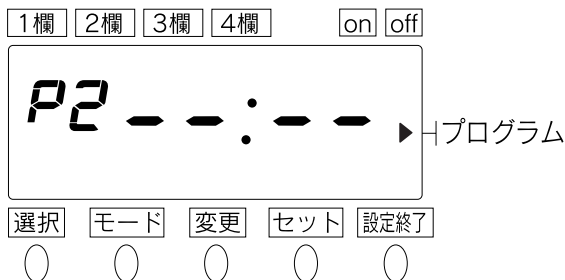
モードボタンと**変更**ボタンを同時に約3秒間押します。

機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「締日」に合います。

選択ボタンを押して表示の“▲”を「プログラム」に合わせます。**変更**ボタンを押して消したいプログラムNo.を点滅させます。**セット**ボタンを1回押して、時刻の“時”を点滅させ、**変更**ボタンで“--”表示に合わせます。

次に**セット**ボタンを1回押すことにより表示は下図のようになりプログラムが消去できます。

例 プログラム No.P2を消す場合



設定後は、必ず**設定終了**ボタンを押してください。

パスワードの設定／解除

改ざん目的などの故意の時間修正や設定の変更を防止するため4桁のパスワードを設定できます。

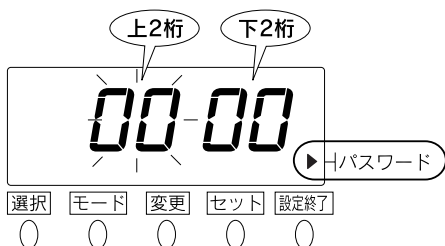
●パスワードを設定するには

パスワードは“0001～9998”までの数字で設定してください。“0000”及び“9999”は設定できません。

重要!

パスワードを設定した場合は、パスワードを入力しないと、時刻修正や設定を変更できません。

例 パスワードを“1234”に設定する。

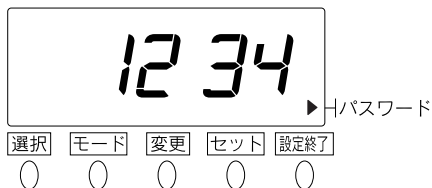


- 1 **モード**ボタンと**変更**ボタンを同時に約3秒間押します。機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「縮日」に合います。**選択**ボタンを押して、“▲”を「パスワード」に合わせてください。

点滅しているところが変更できます。



- 2 **変更**ボタンを押して表示の点滅を“12”に合わせ、次に**セット**ボタンを押します。このとき表示の点滅は“上2桁”から“下2桁”に移ります。



- 3 **変更**ボタンを押して表示の点滅を“34”に合わせ、次に**セット**ボタンを押します。これでパスワードの設定ができました。

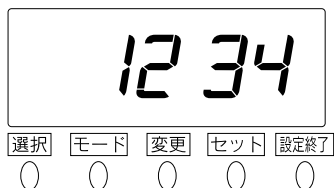
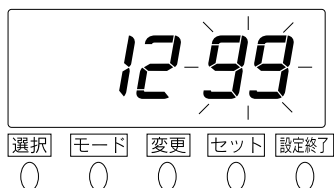


- 4 設定状態からご使用状態に戻すため、**設定終了**ボタンを押します。これで設定は終了です。表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

●パスワードを設定した後他の設定内容を変更するには

パスワードを設定した場合は、パスワードを入力しないと、時刻修正や各種設定を変更できません。パスワードは忘れないように管理してください。

例 パASSWORDが“1234”の場合



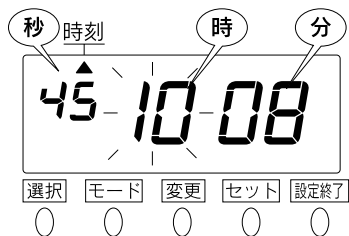
① **選択**ボタンと**モード**ボタン(日時設定モード)、または**モード**ボタンと**変更**ボタン(機能設定モード)を同時に約3秒間押します。
“9999”が表示され、上2桁が点滅します。

② **変更**ボタンを押して、設定したパスワードの上2桁(ここでは“12”)に合わせ、**セット**ボタンを押します。このとき、表示の点滅はパスワードの下2桁に移ります。

③ **変更**ボタンを押して、設定したパスワードの下2桁(ここでは“34”)に合わせ、**セット**ボタンを押します。

●日時設定モードの場合

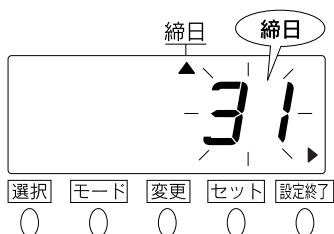
※表示時刻が10時8分45秒の場合



これにより、日時設定モードの場合は「時刻」の設定画面に、機能設定モードの場合は「縮日」の設定画面になり、設定の変更が可能になります。

●機能設定モードの場合

※縮日が月末締めの場合



●パスワードを解除するには

設定したパスワードを入力後、“0000”を設定することにより、パスワードを解除できます。

例 パスワード“1234”を解除する。



重要!

パスワードを忘れてしまった場合は、後述の「オールクリア」を行ってください。なお、オールクリアを行うと、各設定項目は初期の状態に戻りますので、あらかじめ設定し直してください。日付や時刻も設定してください。



「オールクリア」(36ページ)、
「設定のしかた」(13ページ)をご参照ください。

- ① **モード**ボタンと**変更**ボタンを同時に約3秒間押します。
機能設定モードになり、“9999”が表示されます。前ページの②～③の操作をした後に、**選択**ボタンを押して、画面に表示されている“▲”を「パスワード」に合わせてください。左図のように表示され、パスワードの上2桁が点滅します。

点滅しているところが変更できます。

- ② **変更**ボタン押して、表示の点滅を“00”に合わせ、**セット**ボタンを押します。
このとき表示の点滅は“上2桁”から“下2桁”に移ります。
- ③ **変更**ボタンを押して、表示の点滅を“00”に合わせ、**セット**ボタンを押します。これでパスワードを解除できました。


- ④ 設定状態からご使用状態に戻すため、**設定終了**ボタンを押します。これで設定は終了です。
表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。
カバーをつけてご使用ください。

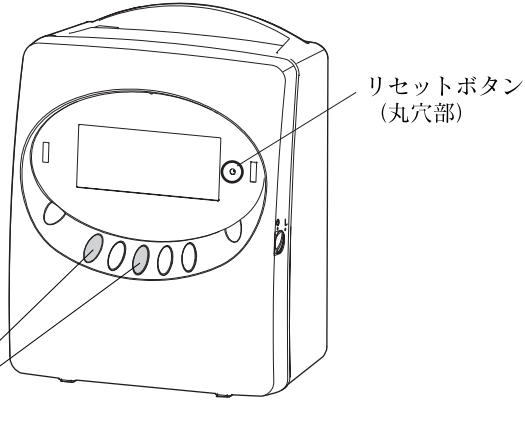
オールクリア

すべての設定を初期の状態に戻したいときに行います。

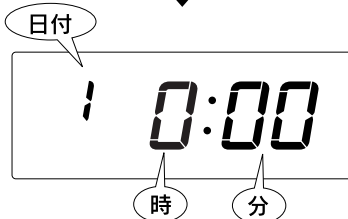
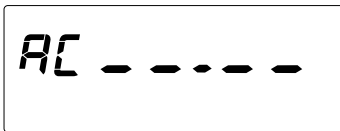
注意

オールクリアすることにより、お客様が設定した内容は消えてしまいますので、あらためて設定してください。日付や時刻も設定してください。

 「設定のしかた」(13ページ)をご参照ください。



選択ボタンと変更ボタンを同時に押しながら、リセットボタンを押します。



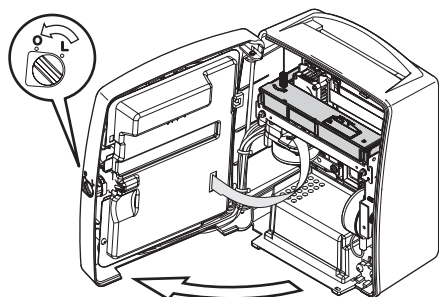
選択ボタンと変更ボタンを同時に押しながら、先の細いものでリセットボタンを押すと、表示は左図のようになり、設定は初期状態になります。

※時刻と日付は必ず設定し直してください。

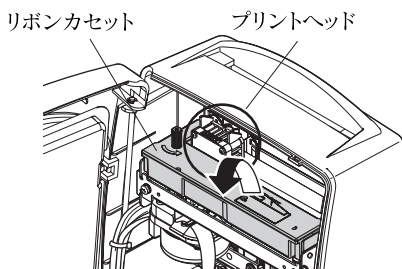
6. リボンの交換

タイムカードに印字される文字がうすくなった場合は、リボンカセットを交換してください。あらかじめ装着されているリボンカセットは、工場出荷時の機能検査用(モニタ印字リボン)です。ご使用時、一部うすく印字される場合がありますのでご了承ください。

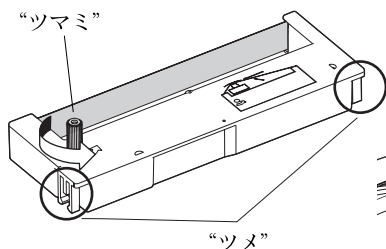
- 1** タイムレコーダー左側面にある開閉レバー“O (OPEN)”にして、前扉を開きます。



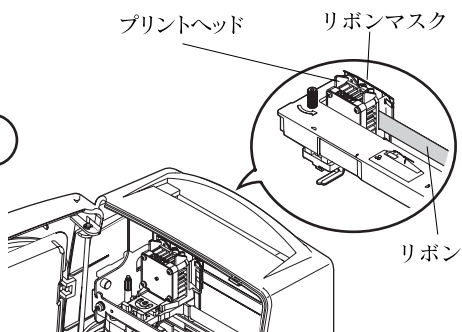
- 2** リボンカセットを上を持ち上げて、取り出します。



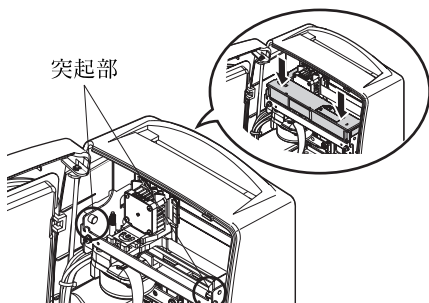
- 3** 新しいリボンカセットのツマミを矢印方向に回して、リボンのたるみをとります。



- 4** リボンマスクとプリントヘッドの間にリボンを入れます。



- 5** リボンカセットの下側のツメをタイムレコーダーの突起部に入れて、パチンと音がするまで押し込みます。

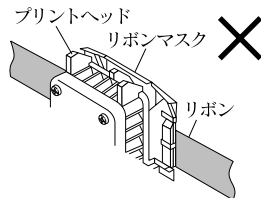
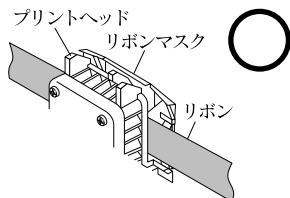


リボン交換時のご注意

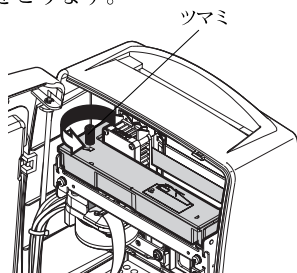
新しいリボンカセットを入れるときには、次のことに注意してください。

下図のようにリボンが、プリントヘッドとリボンマスクの間に**入る**ようにリボンカセットを入れてください。(左側の図)

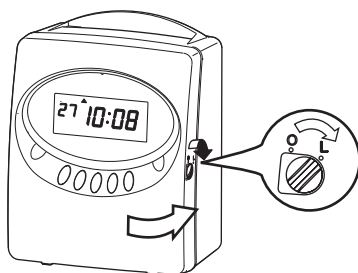
リボンをリボンマスクの奥側にいれてしまうと、正常に印字できません。(右側の図)



- 6** 装着したリボンカセットのつまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみをとります。



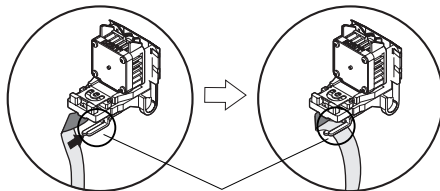
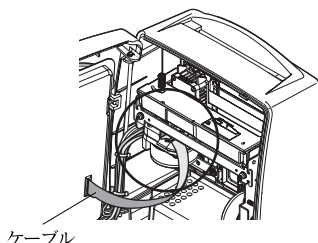
- 7** 前扉を閉め、開閉レバーを“L (LOCK)”に合わせます。



リボンカセット交換時に、ケーブルに触ったり、プリントヘッドを手で移動させたりしないでください。故障する恐れがあります。



ケーブルがホルダーからはずれた場合は、図に従って装着してください。はずれたままご使用になると、タイムレコーダーが破損する恐れがあります。



ホルダー



前扉を開けたまま、開閉レバーを“L (Lock)”にしないでください。故障する恐れがあります。

7. Q & A

Q1 違う日にちの段に印字されるのですが、どうすればいいですか？

A1 次の2つをご確認ください。

- (1) ご使用になるタイムカードの締日とタイムレコーダーに設定した締日が合っているか。

対処方法→機能設定モードにして、締日をタイムカードに合わせて、
下表を参考にして正しく設定してください。

締日	対応するタイムカード	タイムレコーダーに設定する締日
15日	C-31	31
20日	C-20	20
25日	C-25	25
月末	C-31	31
任意の締日	C、Y、SY	締日と同じ数字

(タイムカードの赤い面に右下に型番がかいてあります。)

大の月、小の月によらず、月末締めの場合は“31”でご利用いただけます。
15の締日の場合は、締日を“31”にしてC-31カードでご利用いただけます。

- (2) 印字段切換時刻が従業員の勤務している時間に設定されていないか。

対処方法→印字段切換時刻は、従業員が帰社して誰もいなくなる時間を設定してください。



「締日の設定」(17ページ)、
「印字段切換時刻の設定」(18ページ)をご参照ください。

Q2 タイムレコーダーが動かなくなったのですが？

A2 タイムレコーダーの側面にある開閉レバーが“O (OPEN)”になっていないかどうかを確認してください。“O (OPEN)”になっていたら、開閉レバーを“L (Lock)”にしてください。また、前扉が閉じた状態で、開閉レバーが“L (Lock)”になっていても、動作しない場合は、電源プラグをコンセントから一度抜いて、挿し直してみてください。それでも、動作しない場合は、販売店もしくは当社までご連絡ください。

Q3 このタイムレコーダーは何人まで使えるのですか？

A3 推奨人数は30人です。それ以上の人数でご使用になると、タイムレコーダーの消耗が早くなり、故障の原因にもなります。

Q4 エラー番号「E-03」(タイムカードの表裏が間違っている)が表示されて、印字できないのですが？

A4 タイムカードを反対の面にして、タイムカードをタイムレコーダーに挿入してください。また、「縮日」と「印字段切換時刻」が正しく設定されているかどうか確認してください。それでも、印字できない場合は、販売店もしくは当社までご連絡ください。



「縮日の設定」(17ページ)をご参照ください。

「印字段切換時刻の設定」(18ページ)をご参照ください。

Q5 印字段切換時刻を越えて勤務した場合、出勤と同じ日付に退勤の印字ができますか？

A5 できます。**徹夜**ボタンを押してからタイムカードをタイムレコーダーに挿入してください。出勤と同じ日付の4欄目に「テ」のコメント付きで印字されます。

8. こんなときには

エラー番号が表示されたら

以下を参照して正しい操作を行ってください。

番号	エラー内容	対策
E-00	CPUが正しく動きません。	販売店もしくは当社までご連絡ください。
E-01	メモリーバックアップ用リチウム電池の容量不足です。	
E-03	挿入したタイムカードの表裏が間違っています。	タイムカードの表裏を反対にして挿入してください。
E-04	カードが正しくありません。	セイコーCカード、またはSYカードをご使用ください。
E-05	タイムカードを正しく引き込むことができません。	タイムレコーダーにタイムカードが詰まっているか確認してください。または、タイムカードを挿入し直してください。
E-15	タイムカードを正しく引き込むことができません。 (カードセンサーエラー)	タイムレコーダーにタイムカードが詰まっているか確認してください。または、リボンセットがきちんとセットされているかどうか確認してください。
E-30	印字ができません。 プリンタのモータ、またはホームポジションセンサーに異常があります。	確認が済みましたら、カバーを閉じてください。 それでもエラー番号が表示される場合は、販売店もしくは当社までご連絡ください。
E-37	タイムカードを正しく引き込むことができません。 タイムカードを送るモータ、またはセンサーが正しく動きません。	
E-38	印字ができません。 プリンタのヘッドのモータ、またはセンサーが正しく動きません。	
E-40	パスワードエラーです。	パスワードを正しく入力してください。
E-41	サマータイムが正しく設定されていません。	サマータイムの開始日、または終了日の設定内容を確認して、正しい値を設定してください。
E-49	設定できない値を入力しています。	設定内容を確認して、正しい値を設定してください。

回復しない場合にはご購入の販売店もしくは当社までご連絡ください。

9.仕様一覧

時計精度	月差±15秒以内(常温)
カレンダー機能	～2099年 閏年、大小月、曜日は自動判定
印字方式	ドットインパクト方式
カード機構	自動引き込み・自動排出
使用タイムカード	セイコーC、C-20、C-25、C-31カード/SYカード
メモリー保持機能	工場出荷時より停電累計時間3年間
印字回数	一日4回印字
使用環境	温度: -5～45℃ 湿度: 20～80%Rh 結露なし 温度が5℃以下の場合には正常に動作しますが、印字濃度、 液晶表示の反応は通常使用時に比べて劣ります。
外形寸法	幅172×高さ218×奥行き122mm
質 量	約1.8kg
電 源	AC100V±10% (50/60Hz)
消費電力	通常2.2W、最大20W

タイムカードは指定のCカードまたはSYカードをご使用ください。とくに、折りたたみ式などの特殊カードをご使用になりますと、機能障害を生じることがあります。

10.別売付属品および消耗品

●タイムカード	セイコーC、C-20、C-25、C-31カード/SYカード
●リボンカセット	QR-4550用リボンカセット<型番: QR-10051D>
●カードラック	CR-S10: 10人用 CR-PL10: 追加10人用

セイコープレジジョン株式会社

本社：〒275-8558 千葉県習志野市茜浜1-1-1
お問合せ先：☎0120-132030
受付時間：9:00～12:00, 13:00～17:00
(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)